

カ 令和6年度予算の概要

令和6年度流山市下水道事業会計予算は、業務の予定量を排水区域内人口205,000人、年間有収水量19,116,000立方メートルとして予算編成を行った。

収益的収支については収入を4,045,148千円、支出を3,947,492千円で計上し、資本的収支については、収入を1,831,513千円、支出を3,125,154千円で計上した。

収益的支出の主なものは減価償却費1,676,836千円、流域下水道維持管理費1,520,330千円などである。

また、資本的支出の主なものは、建設改良費1,736,918千円、つくばエクスプレス沿線整備事業費420,414千円、企業債償還金957,822千円などである。

キ 下水道事業の経営方針

令和4年度末の普及率が対前年度比1ポイント上昇し93.30パーセントとなり、収益的収支全体では155,748千円の黒字となったが、事業全体の資金は依然として非常に厳しい状況である。経営安定化のため、引き続き国庫補助金等の収入を確保することと、一般会計からの繰入金を基準内満額受け取ること、併せて経費節減を図ることが必要である。また、令和6年度末までに整備の概成を目指していることから、今以上に効率的な事業運営を推進していかなければならない状況にある。